



# 9・10月講座 PICK UP

申込期間

7月8日(月)  
～7月22日(月)

9・10月に実施する講座の中から、学級・学校生活づくりや高等学校の特別支援教育など4講座を紹介します。

505

## 特別活動講座—よりよい学級・ 学校生活をつくるために—

ステージ2  
生徒指導

10月8日(火) 13:00～17:00 北部研修所  
講師: 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官  
国立教育政策研究所 教育課程調査官 安部恭子

学級(ホームルーム)や学校における生活づくりに自主的、実践的に取り組む特別活動の在り方について学び、実践的な指導力の向上を図ります。

526

## 特別支援教育「これからの高等学校 の特別支援教育を考える」講座

ステージ2  
人権

10月28日(月) 13:00～17:00 総合教育センター  
講師: 大阪医科大学LDセンター 顧問 竹田契一  
行政関係者

発達障害等のある児童生徒の自立と社会参加に向け、高等学校卒業までに付けておきたい力と必要な指導・支援について理解します。

※特別支援教育コーディネーター養成講座の選択講座

503

## 人権教育講座II —同和問題を考える—

ステージ2  
人権

10月28日(月) 10:30～17:00 北部研修所  
講師: 京都教育大学 教授 伊藤悦子

人権教育の指導方法等の在り方について理解を深め、主体的かつ積極的に人権教育を推進し、校内研修を活性化するための実践的指導力の向上を図ります。

707

## ワーク・ライフ・ マネジメント講座(企業連携)

ステージ2  
マネジメント

10月17日(木) 10:30～17:00 京都商工会議所  
講師: バランスコミュニケーション 代表 服部裕子

自身のワークライフバランス実現に向けたプランニングから、仕事・人生を充実させる考え方を学び、限られた時間で成果を出す働き方について考えます。

※準備物等については京都府総合教育センターホームページ I T E C に実施要項を掲載しますので、必ず確認してください。



## 様々な資料を活用して「情報モラル教育」をさらに充実!

夏休み中は児童生徒がスマートフォン等を利用してインターネットに触れる機会が多くなり、様々なトラブルが発生しやすくなります。

情報モラル教育を夏休み前に行うことで、そうしたトラブルの未然防止が図れます。

授業づくりや児童生徒、保護者への啓発などに、総合教育センターや文部科学省、京都府教育委員会が発行している様々な資料を有効に活用してください。



### 総合教育センター 情報モラル教育指導資料

情報モラル教育指導資料  
～SNSでのコミュニケーション～

検索はこちら 総合教育センター  
[http://www.kyoto-be.ne.jp/ed-center/cms/?page\\_id=421](http://www.kyoto-be.ne.jp/ed-center/cms/?page_id=421)

#### 主な内容

- ・情報モラル教育の進め方
- ・モデルカリキュラム
- ・学習指導案 など

### 文部科学省 児童生徒向け資料

スマホ時代のキミたちへ  
スマホやネットばかりになっていない?  
問題にいつ気付くかな? 気付いたらここに、Oを付けてみよう

検索はこちら  
[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/zyouhou/detail/1369617.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/1369617.htm)

#### 主な内容

- ・コミュニケーションの取り方
- ・個人情報の取り扱い
- ・スマホやネットの活用 など

### 京都府教育委員会 保護者向け資料

保護者のみなさまへ  
～スマホ・ケータイ利用のルールとマナーについて～  
家庭で話そう!

検索はこちら  
[http://www.kyoto-be.ne.jp/gakkyou/cms/?page\\_id=101](http://www.kyoto-be.ne.jp/gakkyou/cms/?page_id=101)

#### 主な内容

- ・スマホ・ケータイの危険性
- ・ルールづくりのポイント
- ・フィルタリングの設定 など

# 学びの直送便



今回の「学びの直送便」では『高大接続』『学校組織力』『道徳教育』『インクルーシブ教育』に関する講座について紹介します。

## 439 明日の授業を考える高校教育講座 —高大接続と探究活動を視点にして— 5/23

講師：文部科学省 国際統括官付 国際戦略企画官  
前独立行政法人大学入試センター 審議役 大杉 住子

大杉住子前大学入試センター審議役を講師としてお招きし、新学習指導要領の趣旨や高大接続改革、大学入学者選抜改革等の最新動向を学び、これからの高等学校教育の在り方について考えました。

講義では、新学習指導要領の全面実施に向けた授業改善の視点として、国連が定めるSDGs（持続可能な開発目標）を題材とした探究活動等を例に、**持続可能な社会の担い手となる力**を育む授業について学びました。演習では、「高校での探求的な学び」をテーマとしたグループ演習などを通して、お互いの意見を共有し、さらに高大接続の視点を深めることができました。



グループ演習の様子

## 521 特別支援教育 「インクルーシブ教育システム」講座 —コーディネーターの役割— 5/31

【養成講座！】

講師：兵庫教育大学大学院 教授 岡村 章司

兵庫教育大学の岡村章司教授を講師としてお招きし、インクルーシブ教育システムの基本的な知識や、学校内での特別支援教育コーディネーターの役割等について理解を深めました。

演習では、受講者は4～5人のグループになり、仮想事例に対して、よりよい援助の在り方を話し合いました。その内容をグループごとに具体的な場面を想定して演劇により発表しました。グループごとの異なる校内支援を見て学ぶことで、**それぞれの特別支援教育コーディネーターがもつ良さを生かした校内支援を行うことが重要である**と気づくことができました。



演劇発表の様子

## 436 道徳の授業づくり実践講座 5/31 | センター 437 6/7 | 北部

講師：四天王寺大学 教授 杉中 康平

本講座では、四天王寺大学の杉中康平教授を講師にお招きし、5月31日には木津川市立棚倉小学校の瀬戸陽子教諭、6月7日には南丹市立園部中学校の梅垣宏祐教諭から実践発表があり、指導助言をいただきました。また、道徳科の教材の特徴や、児童生徒がねらいとする価値に迫るための発問の工夫などを踏まえた、授業づくりの考え方について講義いただきました。

講義の中で実践発表を交え、「**児童生徒がねらいとする価値に迫るための発問の工夫**」、「**小学校低学年から中学校まで一貫して捉えること**」、「**考える時間、議論する時間を充実させるための発問の精選**」など、**授業者が意図をもって道徳の授業づくりをしていくことの重要性**について学びました。



研修の様子

## 710 学校組織力パワーアップ講座！ 5/31

講師：京都大学総合博物館 准教授  
デザイン学ユニット 学術研究支援室 参与 塩瀬 隆之

京都大学総合博物館の塩瀬隆之准教授を講師としてお招きし、「主体的に学ぶ」ことについて、アクティブラーニング研修等を通して、受講者が自ら体験することで理解を深めました。

演習を通して、一方的に伝えたつもりになっていたことに気づくことができ、「**伝わる**」話し方の難しさや**相手の理解できる言葉を選ぶ大切さ**を学びました。

アクティブラーニング研修では、「先生の時間を児童に渡す覚悟」をテーマとし、これまでの指導をふり返ることを通して、「主体的な学び」につながる指導への理解を深めました。



研修の様子

## 京都府総合教育センター 研究紀要 第8集

- 特別支援教育における「児童生徒の一人一人の良い点や可能性の積極的な評価」の在り方に関する一考察
- 自己肯定感等に関する一考察～「折れない、しなやかな心」を巡って～
- 「小中校の接続を意識した外国語による言語活動の工夫」
- カリキュラム・マネジメントを活用した学校づくりの支援
- 「小学校算数科授業づくり」リーフレット  
算数科における「主体的・対話的で深い学び」を実現していくための手立ての検討～「数学的な見方・考え方」を働かせる手立てに着目して～

「児童生徒とのかかわり方」、  
「授業づくり」  
にご活用ください！

